

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Aコース(為替ヘッジあり)」と「フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Bコース(為替ヘッジなし)」は、第2期の決算を行いました。当ファンドは、世界(除く日本)の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社
カスタマー・コミュニケーション部
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0570-051-104**

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時
固定電話、携帯電話からお問い合わせいただけます。
国際電話、一部のIP電話からはご利用いただけません。

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

フィデリティ・グロース・ オポチュニティ・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式

交付運用報告書

第2期(決算日 2024年8月20日)

作成対象期間(2023年8月22日～2024年8月20日)

日経新聞掲載名

Aコース(為替ヘッジあり): FグロオポA

Bコース(為替ヘッジなし): FグロオポB

第2期末 (決算日 2024年8月20日)		
基準価額	Aコース(為替ヘッジあり)	Bコース(為替ヘッジなし)
	14,811円	17,929円
純資産総額	Aコース(為替ヘッジあり)	Bコース(為替ヘッジなし)
	6,450百万円	57,431百万円
第2期 (2023年8月22日～2024年8月20日)		
騰落率	Aコース(為替ヘッジあり)	Bコース(為替ヘッジなし)
	33.7%	43.0%
分配金合計	Aコース(為替ヘッジあり)	Bコース(為替ヘッジなし)
	0円	0円

(注) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

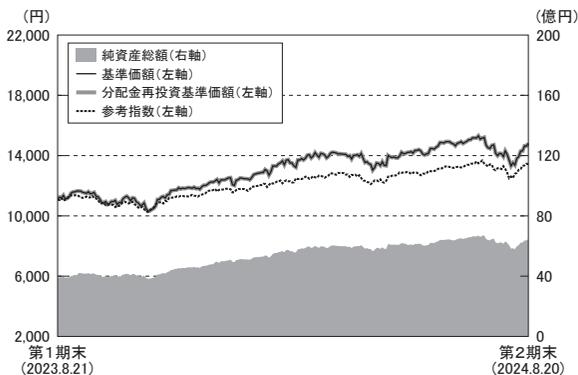
フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移

Aコース(為替ヘッジあり)

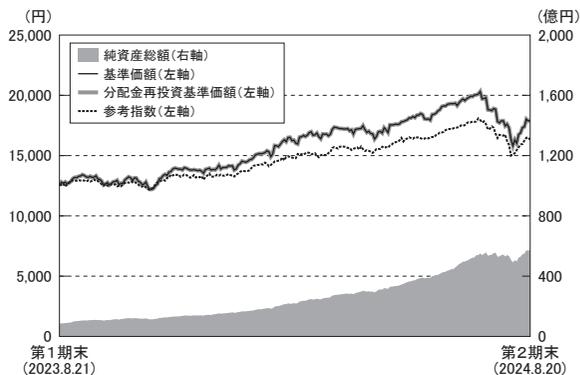


第2期首: 11,079円

第2期末: 14,811円(既払分配金0円)

騰落率: 33.7%(分配金再投資ベース)

Bコース(為替ヘッジなし)



第2期首: 12,537円

第2期末: 17,929円(既払分配金0円)

騰落率: 43.0%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2023年8月21日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※Aコース(為替ヘッジあり)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ヘッジ指数)」、Bコース(為替ヘッジなし)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

② 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、Aコース(為替ヘッジあり)が+33.7%、Bコース(為替ヘッジなし)が+43.0%でした。

当ファンドは、フィデリティ・グロス・オポチュニティ・マザーファンド受益証券を組入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

<プラス要因>

ファンドの業種選択が奏功したこと。

株式相場が上昇したこと。

Bコース(為替ヘッジなし)については、米ドル/円相場が円安・米ドル高となったこと。

<マイナス要因>

特になし。

③ 1万口当たりの費用明細

Aコース(為替ヘッジあり)

項目	第2期		項目の概要
	2023年8月22日～2024年8月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	213円	1.640%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は13,016円です。
(投信会社)	(105)	(0.809)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(105)	(0.809)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.037	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(5)	(0.037)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(1)	(0.006)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	9	0.068	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(6)	(0.044)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(2)	(0.017)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。
合計	228	1.751	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

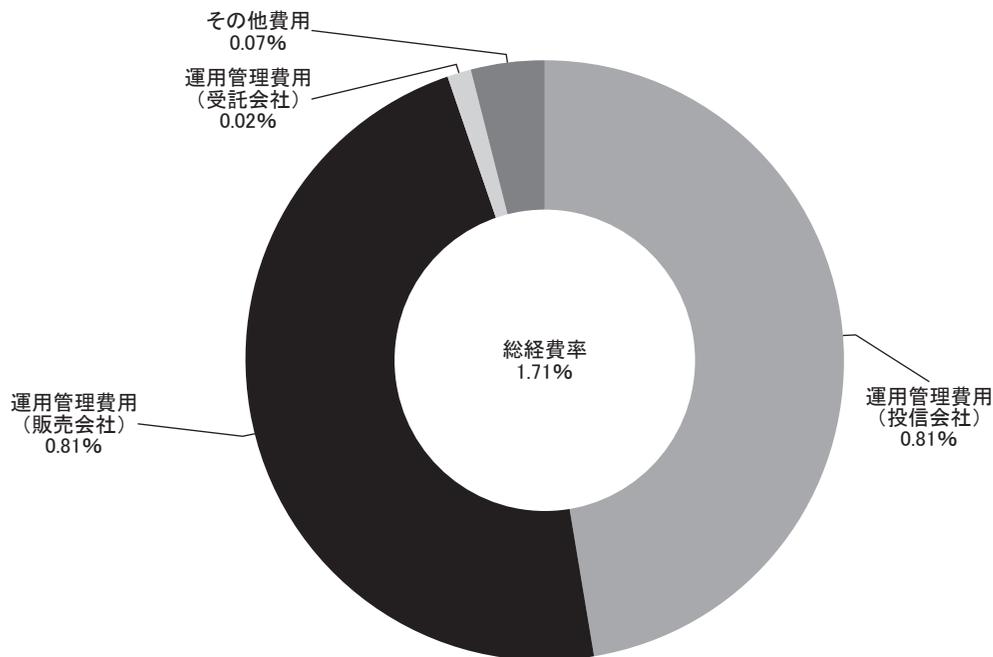
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.71%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

Bコース(為替ヘッジなし)

項目	第2期		項目の概要
	2023年8月22日～2024年8月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	259円	1.640%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は15,815円です。
(投信会社)	(128)	(0.809)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(128)	(0.809)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.043	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(7)	(0.043)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	1	0.009	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(株式)	(1)	(0.009)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	8	0.050	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(6)	(0.038)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(2)	(0.011)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。
合計	276	1.742	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

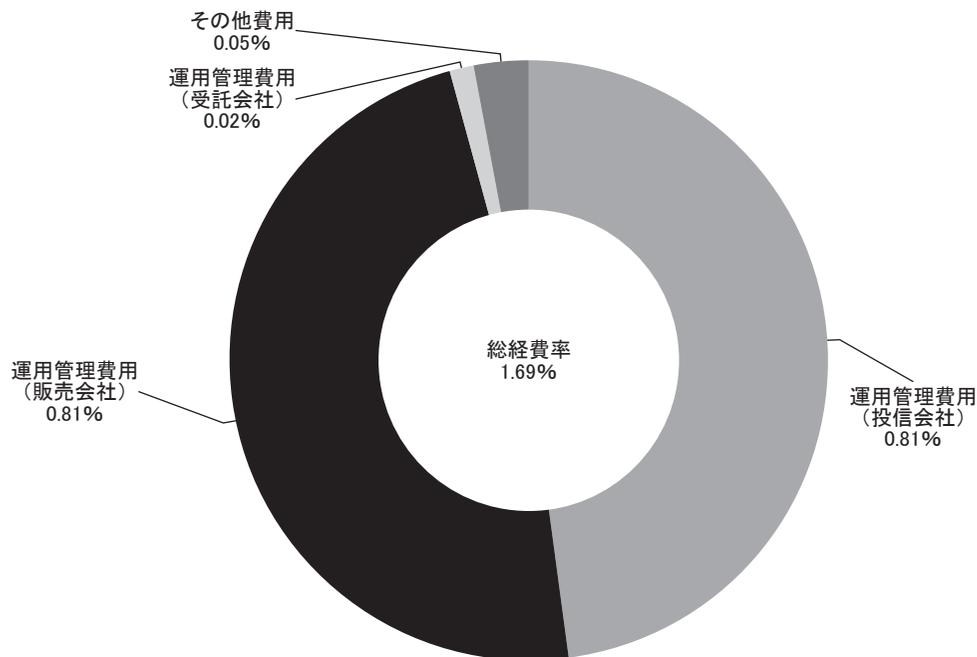
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.69%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

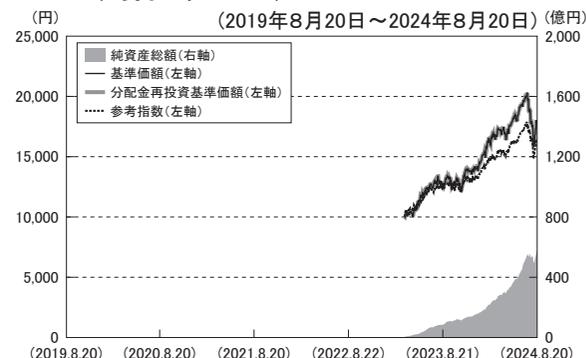
(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移

Aコース(為替ヘッジあり)



Bコース(為替ヘッジなし)



Aコース(為替ヘッジあり)

	2023年3月29日 設定日	2023年8月21日 決算日	2024年8月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,079	14,811
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.8	33.7
参考指数騰落率 (%)	—	8.9	21.2
純資産総額 (百万円)	128	3,863	6,450

Bコース(為替ヘッジなし)

	2023年3月29日 設定日	2023年8月21日 決算日	2024年8月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,537	17,929
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	25.4	43.0
参考指数騰落率 (%)	—	24.0	30.1
純資産総額 (百万円)	569	8,451	57,431

(注1) 分配金再投資基準価額および参考指数は、当ファンドの設定日(2023年3月29日)を起点として計算しています。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※Aコース(為替ヘッジあり)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ヘッジ指数)」、Bコース(為替ヘッジなし)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

⑤投資環境

当期の主要株価指数の騰落率は、米国株式(S&P500種指数)+27.21%、米国成長株式(ナスダック指数)+32.00%でした。(いずれも米ドルベース)

当期、米国株式は上昇しました。期初は、弱めの米経済指標を背景に金融引き締め長期化への懸念が後退するなか強含む展開となりました。その後、9月はサウジアラビアによる原油の自主減産延長などを受けて米長期金利が上昇し、米国株式は値を崩しました。10月は、米国における金融引き締めの長期化観測や中東情勢の悪化を受けて軟調に推移しました。11月は、弱めの米経済指標や米金融当局高官の発言を背景に米利下げ観測が広がり、持ち直す流れとなりました。12月は、米連邦公開市場委員会(FOMC)で2024年における政策金利の引き下げ予想が示されたことから、先々の利下げが米経済を支えるとの見方が広がり、堅調に推移しました。1月は米財務省の借入額が想定よりも少なくなるとの見方などから米長期金利が低下し、相場を支えました。2月は米企業決算を巡る期待や米インフレ懸念の後退を背景に上昇しました。3月は米経済を良好とみる向きが広がったほか、出遅れ感のあるセクターを物色する動きもみられ、底堅く推移しました。4月は、インフレや中東情勢の緊迫化に対する警戒感が高まり、米国株は反落しました。5月は、米金融当局高官などの発言を手掛かりに金融緩和期待が広がり、持ち直しました。6月は、米景況感指標の上方修正などを手掛かりに景気減速懸念が和らぎ、上値余地を探る展開となりました。7月は企業決算を受けて大型ハイテク株が急落し、相場全体に下押し圧力がかかりました。期末にかけては、米景気後退懸念を背景に株式市場に対する下押し圧力が強まる局面がみられました。ただ、自律反発を期待する向きがみられたほか、米インフレ指標の鈍化も支えとなり、一時の下げ幅を埋める展開となりました。

当期の米ドル/円相場は、約0.77%の円安・米ドル高(1米ドル=145.33円→146.45円)でした。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド受益証券を通じて投資をしております。

当ファンドは、主として世界(除く日本)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。企業の成長性や業績に対する株価の割安度に着目し、運用成果の向上を目指します。個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。

当期において、当ファンドは上記方針に沿った運用を行いました。なお、当ファンドにおける組入上位10業種の比率は以下の通りとなりました。

組入上位10業種

前期末

	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	19.1%
2	メディア・娯楽	17.7
3	半導体・半導体製造装置	16.8
4	金融サービス	10.4
5	一般消費財・サービス流通・小売り	7.4
6	ヘルスケア機器・サービス	7.3
7	電気通信サービス	4.2
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.7
9	運輸	3.2
10	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.2

当期末

	業種	比率
1	メディア・娯楽	24.0%
2	半導体・半導体製造装置	16.6
3	ソフトウェア・サービス	11.6
4	一般消費財・サービス流通・小売り	11.0
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.4
6	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.2
7	金融サービス	4.7
8	ヘルスケア機器・サービス	4.1
9	運輸	3.7
10	資本財	3.1

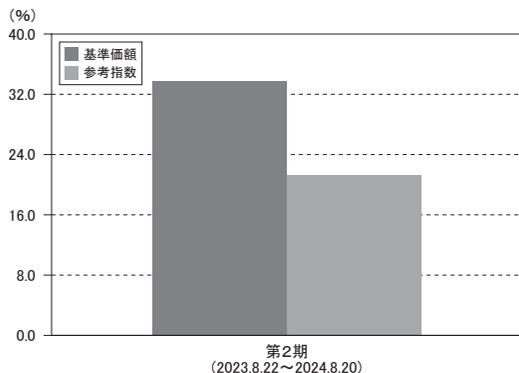
(注)「比率」欄は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

⑦ベンチマークとの差異

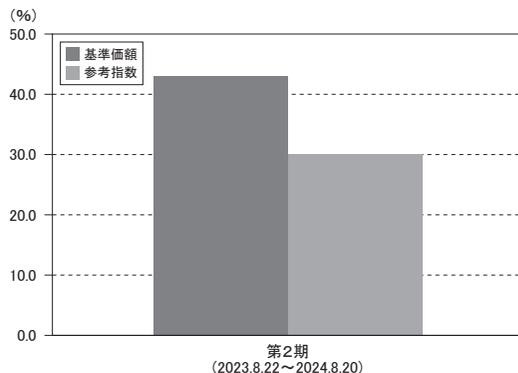
当ファンドは、ベンチマークを設定していません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)

Aコース(為替ヘッジあり)



Bコース(為替ヘッジなし)



(注)基準価額の騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

※Aコース(為替ヘッジあり)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ヘッジ指数)」、Bコース(為替ヘッジなし)の参考指数は「S&P 500(税引前配当金込/円ベース)」です。

※参考指数の詳細は、後述の「指数に関して」をご参照ください。

⑧分配金

Aコース(為替ヘッジあり)

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第2期
	2023年8月22日～2024年8月20日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,810

Bコース(為替ヘッジなし)

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第2期
	2023年8月22日～2024年8月20日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	7,929

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、引き続きフィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド受益証券を組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

足元の株式市場は不安定な値動きを見せています。米国において経済サイクルが後期局面に向かっているとの警戒が広がっているほか、大統領選挙を控えて政局の不透明感もくすぶっています。しかし、米国の個人消費は引き続き底堅く、企業収益は中長期的に成長していくと見込まれます。また、製品・サービスの改善や開発により収益力を高める企業、時流を捉えて成長を遂げる企業は存在します。市場の先行きが不透明な反面、中長期的に大きく成長する企業を見極める機会と捉えられ、個別銘柄の調査分析を徹底し、成長力の高い企業を選別して、長期的な運用成果の達成を目指します。

3. お知らせ

- 2023年11月18日付で当ファンドの運用の実態に合わせて、投資信託約款中の信用取引および有価証券の空売りに関する条項を削除いたしました。

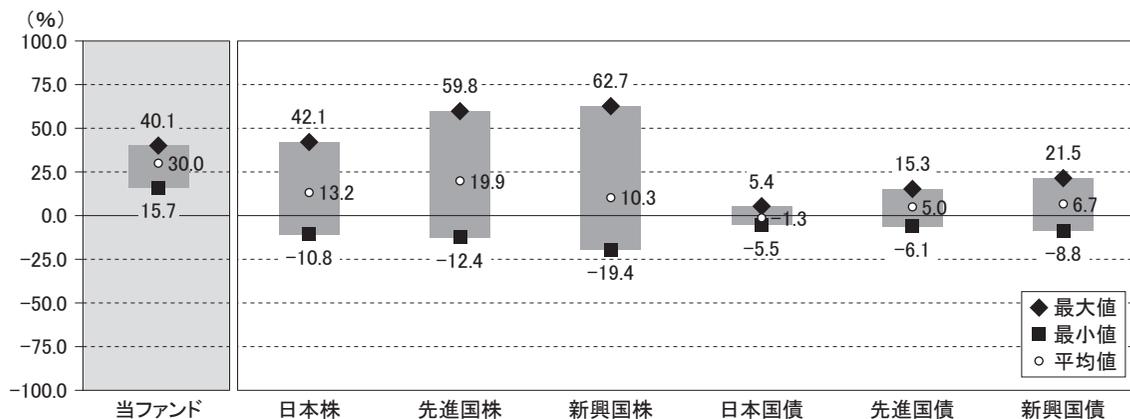
4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(2023年3月29日設定)	
運用方針	投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビー・ファンド	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド	世界(除く日本)の金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">●フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界(除く日本)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている企業の株式を主要な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。●企業の成長性や業績に対する株価の割安度に着目し、運用成果の向上を目指します。●FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。	
分配方針	毎決算時(原則8月20日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

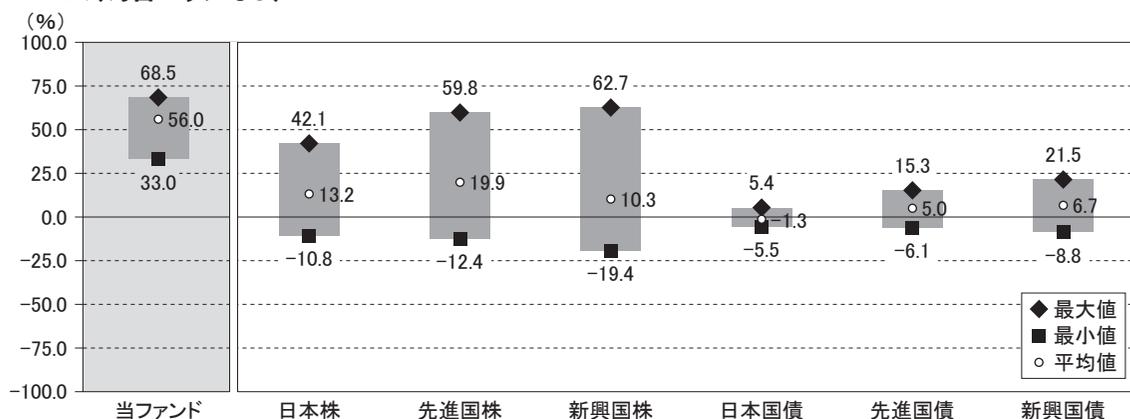
5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

Aコース(為替ヘッジあり)



Bコース(為替ヘッジなし)



(注1) 当ファンドは2023年3月29日に設定されたため2024年3月～2024年7月の期間、他の代表的な資産クラスについては2019年8月～2024年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURAーBPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBIーEMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

①組入資産の内容

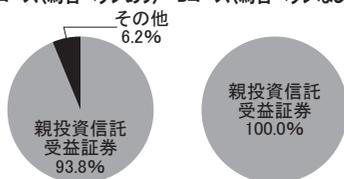
組入上位ファンド

(2024年8月20日現在)

ファンド名	組入比率	
	Aコース(為替ヘッジあり)	Bコース(為替ヘッジなし)
フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド	93.8%	100.0%
組入ファンド数	1ファンド	1ファンド

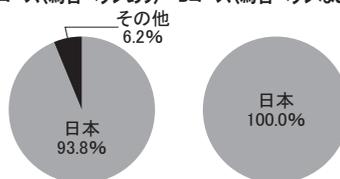
資産別配分

Aコース(為替ヘッジあり) Bコース(為替ヘッジなし)



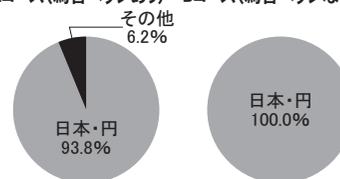
国別配分

Aコース(為替ヘッジあり) Bコース(為替ヘッジなし)



通貨別配分

Aコース(為替ヘッジあり) Bコース(為替ヘッジなし)



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

Aコース(為替ヘッジあり)

項目	当期末
	2024年8月20日
純資産総額	6,450,297,979円
受益権総口数	4,355,099,024口
1万口当たり基準価額	14,811円

(注) 当期中における追加設定元本額は1,224,525,603円、同解約元本額は356,364,550円です。

Bコース(為替ヘッジなし)

項目	当期末
	2024年8月20日
純資産総額	57,431,941,509円
受益権総口数	32,032,579,216口
1万口当たり基準価額	17,929円

(注) 当期中における追加設定元本額は28,975,262,136円、同解約元本額は3,683,875,173円です。

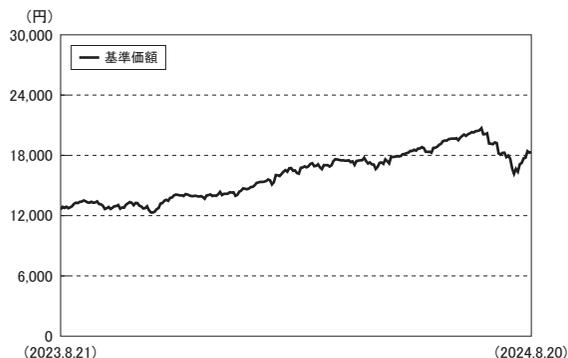
③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・グロース・オポチュニティ・マザーファンド 基準価額の推移

(別途記載がない限り2024年8月20日現在)

組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	比率
1	META PLATFORMS INC CL A	アメリカ・ドル	8.0%
2	APPLE INC	アメリカ・ドル	7.1
3	MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	6.8
4	AMAZON COM INC	アメリカ・ドル	6.5
5	NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	5.6
6	ALPHABET INC CL C	アメリカ・ドル	5.6
7	BROADCOM INC	アメリカ・ドル	4.0
8	UBER TECHNOLOGIES INC	アメリカ・ドル	3.7
9	ELI LILLY & CO	アメリカ・ドル	3.1
10	ROKU INC CLASS A	アメリカ・ドル	2.7
組入銘柄数		94銘柄	

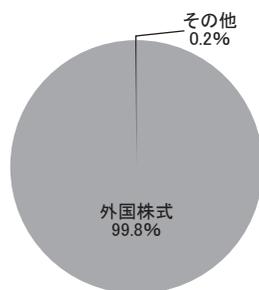


1万口当たりの費用明細

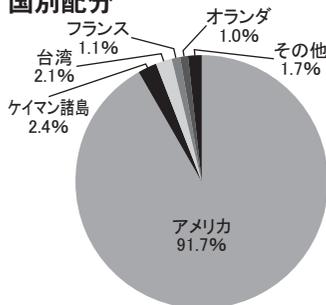
(2023年8月22日～2024年8月20日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	7円 (7) (0)
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)
(c) その他費用 (保管費用)	6 (6)
合計	14

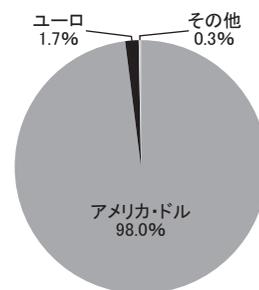
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、前述の「1万口当たりの費用明細」の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●参考指数について

- ・S&P 500[®]指数は、ニューヨーク証券取引所、NASDAQに上場している米国の主要産業を代表する500社により構成される米国株の株価指数です。S&P 500[®](「当指数」)は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJ」)の商品で、フィデリティ投信株式会社に対して使用許諾が与えられています。フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(以下「本商品」)はSPDJおよびその関連会社により支持、推奨、販売または販売促進されているものではなく、本商品への投資の妥当性についていかなる表明も行なっておらず、当指数の誤り、欠落または遅延について責任を負いません。
- ・S&P 500(税引前配当金込／円ベース)は、現地通貨ベース指数から税引前配当金込指数を計算したものを株式会社三菱UFJ銀行が発表する換算レートをもとに委託会社が算出したものです。

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

